

# 資料編

## (1) 年代別アンケート

年代別アンケート回答数・・・1379人 (有効枚数 1378枚 無効枚数 1枚)

アンケート回収率・・・・・・ 1378枚/1705枚 ≒80.8%

設問1 年齢

年代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	未回答	合計
回答数(人)	337	95	197	233	178	186	109	41	2	1378
(%)	(24.5)	(6.9)	(14.3)	(16.9)	(12.9)	(13.5)	(7.9)	(3)	(0.1)	(100)

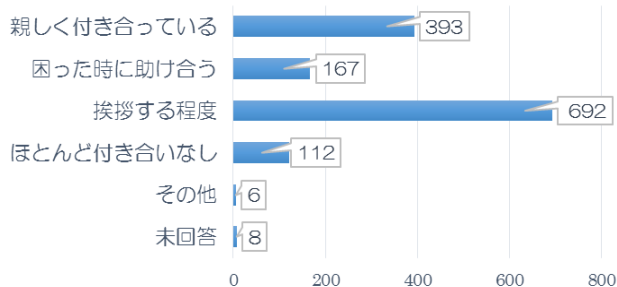
設問2 性別

性別	男性	女性	未回答	合計
回答数	665	700	13	1378
(%)	(48.3)	(50.8)	(0.9)	(100)

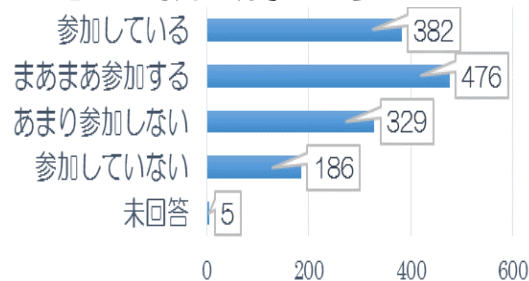
設問3 家族上状況

家族構成	一人世帯	二人世帯	三人世帯	四人世帯	五人以上	未回答	合計
回答数(%)	80 (5.8)	240 (17.4)	242 (17.6)	379 (27.5)	424 (30.8)	13 (0.9)	1378 (100)

設問4 隣近所との付き合い



設問5 地区・町内の行事への参加



※ 「ほとんど付き合いがなし」「挨拶する程度」と回答した方が58.3%で半数以上であった。現代の近所付き合いが表れているが、近隣の関係が希薄化していることが分かる。

設問6 地区・町内のどのような行事に参加するか

(設問5で1・2と答えた方のみ) ※複数回答

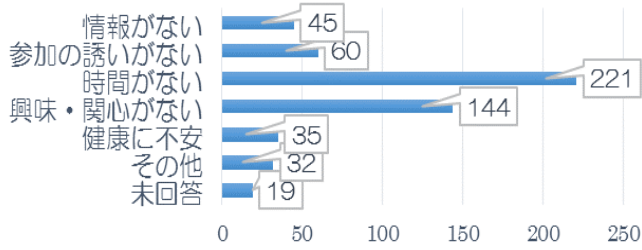


その他意見

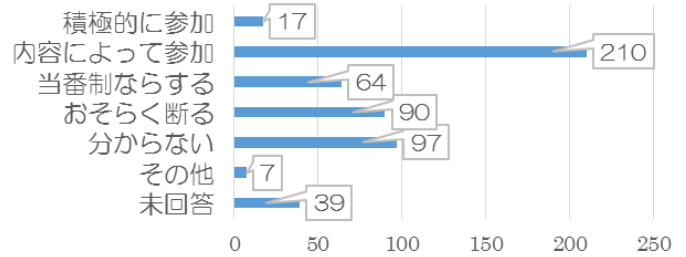
- ・PTA 活動
- ・地区親睦会への参加
- ・地区の体育大会
- ・資源回収
- ・清掃活動
- ・交通安全ボランティア
- ・防犯活動
- ・教室の講師 など

※ 地域行事や環境美化活動など義務的な意味合いから参加している項目の活動が多く、反対に、サークル活動・老人クラブなど自らの意思で参加する活動の項目は数値が低い。

設問 7 地区・町内の行事に参加しない理由  
(設問 5 で 3・4 と答えた方のみ) ※複数回答者有

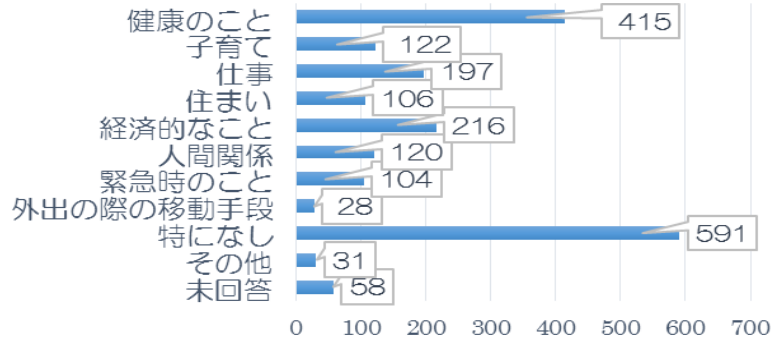


設問 8 今後、地区・町内の活動に参加したいか  
(設問 5 で 3・4 と答えた方のみ)



※ 設問 7, 8 から 現役世代や 10 代からの回答が多いことより「時間がない」といった理由が多い。「参加の誘いが無い」「情報が無い」の項目も数値が高いので、的確な情報提供によっては「参加する」に転じる人がいることが予想されるので工夫の必要がある。

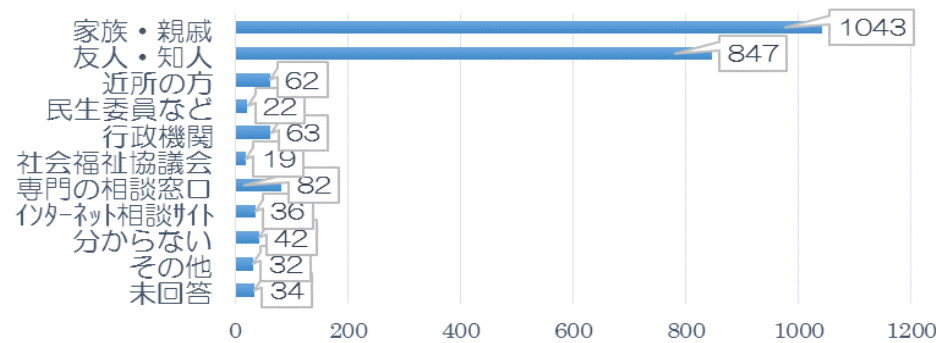
設問 9 日常生活での困りごとや悩み事 ※複数回答



- その他
- ・親族のこと
  - ・結婚相手がいない  
(複数回答)
  - ・鳥獣による被害
  - ・老後のこと
  - ・勉強、成績、進路  
(複数回答)
  - ・自分が死んだあと
  - ・地区の懸案事項  
など

※ 「特になし」の他は、「健康のこと」「経済的なこと」「人間関係」「子育てのこと」と続く。

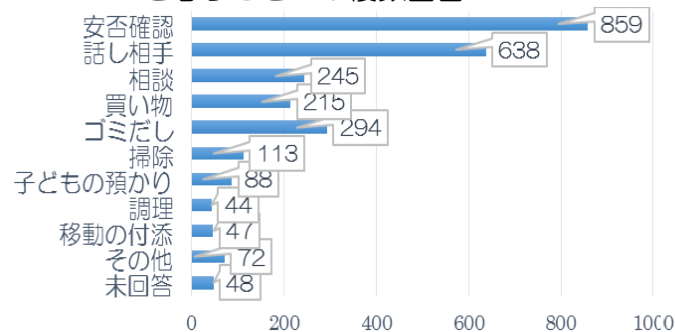
設問 10 困りごとの相談先 ※複数回答



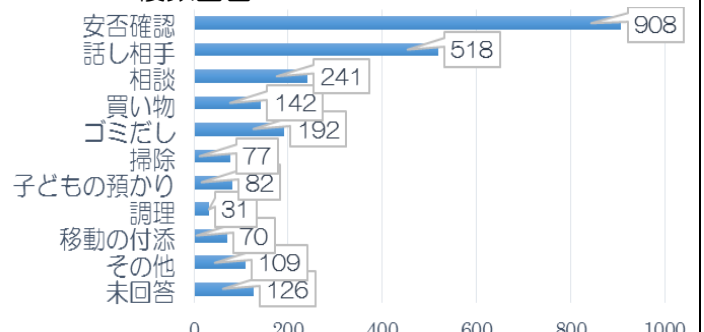
- その他
- ・職場の同僚
  - ・職場の上司
  - ・相談しない
  - ・学校の先生
  - ・弁護士  
など

※ 「わからない」と回答した方が僅かでも存在するので、身近な相談先が明確にわかるようシステムを作っていくことが必要である。

設問 11 困っている世帯に対し、自分ができると思うこと ※複数回答

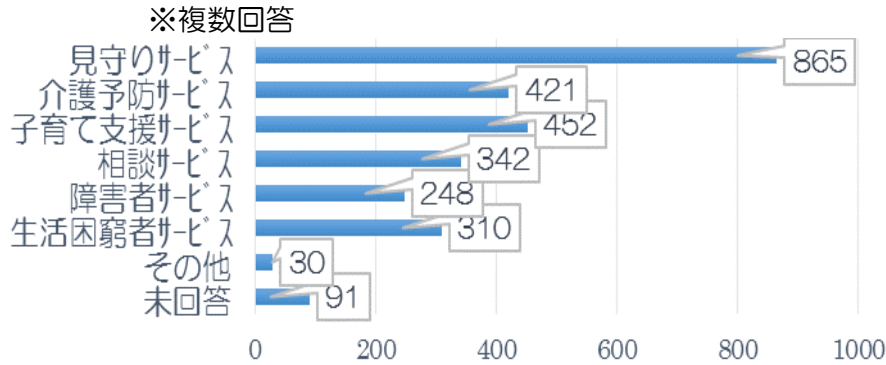


設問 12 近隣同士手助けが必要だと思うこと  
複数回答



※ 設問 11, 12 のいずれも、近隣で安否確認、話し相手などのコミュニケーションをとることが必要と感じており「買い物」や「ゴミ出し」、「子どもの預かり」も自分にもできると思う人がいることが分かる。

設問 13 今後必要になるとと思われる具体的な福祉サービス ※複数回答

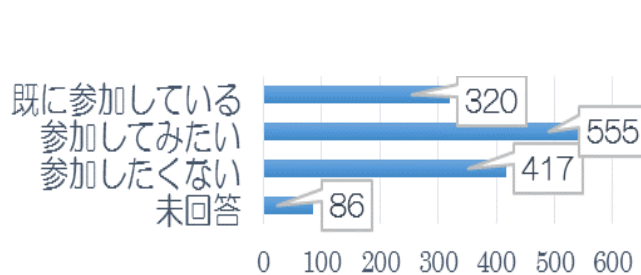


その他

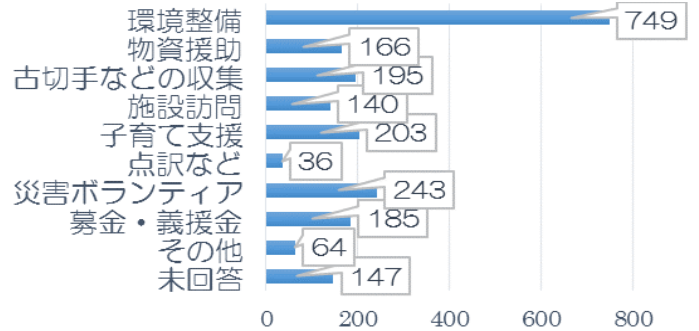
- ・1人暮らし高齢者に対する見守りの充実
- ・福祉パンフレットの作成
- ・産科の充実
- ・子育て世代への経済支援
- ・いじめ撲滅の運動

※ この設問でも、「見守り」サービスが圧倒的に多く上がった。その他の「介護予防」「子育て支援」「障がい者」「生活困窮者」に対しても変わらずサービスの必要性を感じている。

設問 14 ボランティア活動への参加について

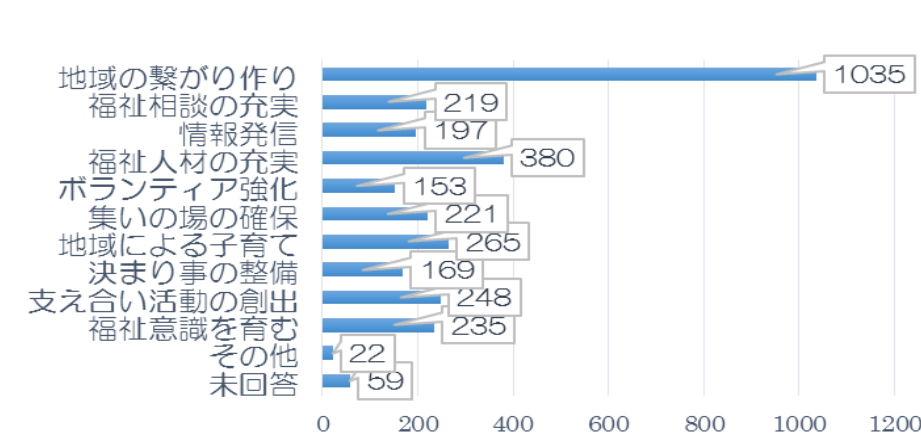


設問 15 ボランティア活動の内容について ※複数回答



※ 「参加している」「参加してみたい」を合わせると875人（63.5%）の回答となった。活動内容は町内や学校行事で行う環境整備を筆頭に、「災害ボランティア」「子育て支援」「募金・義援金」等、少子化対策や災害時対策があげられている。

設問 16 地域で安心して生活していくために必要なこと ※複数回答

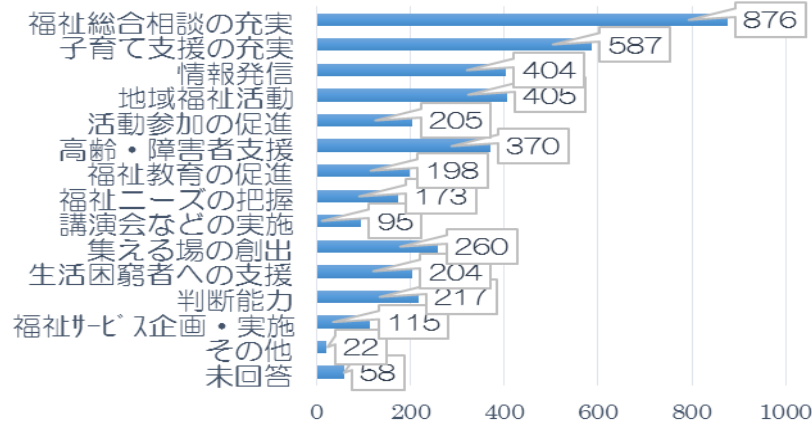


その他

- ・意見を出しやすい環境
- ・小路の環境整備
- ・治安の強化
- ・避難ルートの確立
- ・きれいな街づくり
- ・近所との付き合いを最低限に留めること

※ 「地域の繋がり作り」が圧倒的に多く、次いで「福祉人材の充実」「地域による子育て支援」「支え合い活動の創出」「福祉意識を育む」「集いの場の確保」が同等にあがっている。地域の繋がりを新たに推進するために、福祉意識を持った人材が重要なカギとなり、福祉人材の確保や育成の取り組みを推進すべきである。

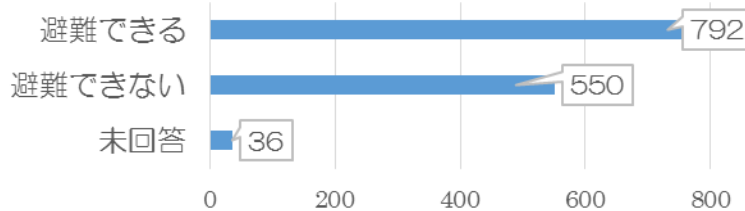
設問 17 社会福祉協議会の充実について ※複数回答



- その他
- ・婚活しやすい場の提供
  - ・生きがいの場づくり
  - ・社会的弱者の保護
  - ・どうでも良い
  - ・社協には期待していない

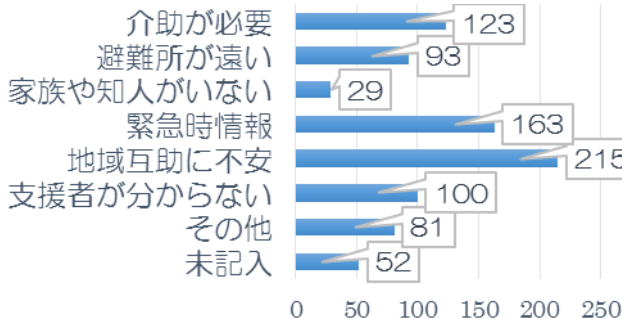
※ 「福祉総合相談の充実」が一番多いのは、困った時の相談対応に応じる機関がほしいニーズの表れと思われる。次の「子育て支援の充実」はどの設問にもあげられるニーズであり、少子化核家族化が進行する現代では、地域ぐるみで子育てをする体制の推進が急務とされる。それに伴う「地域福祉活動」「情報の発信」も充実が必要と言える。「集える場」の創出もあがっているため、高齢者、障がい者、子どもの対策を別々に検討するのではなく、地域の一員であることを重視した「集いの場」も検討したい。

設問 18 災害など有事の際の避難について



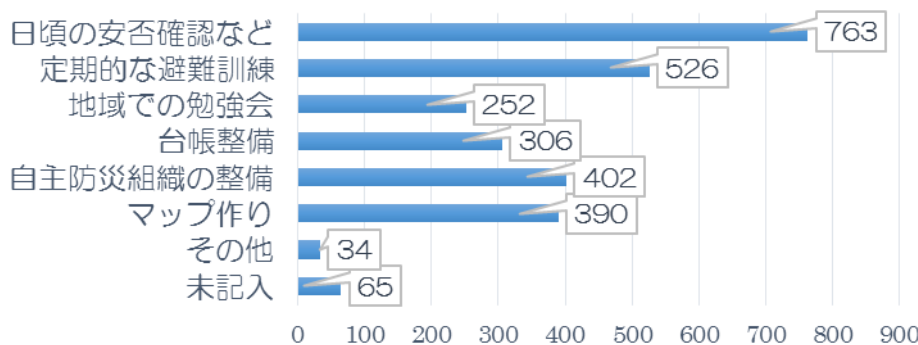
設問 19 避難できないと答えた理由（設問 18 で 2 と答えた方のみ）

※複数回答



- その他
- ・避難場所が何処か分からない
  - ・パニックになり冷静に対処できないと思う。
  - ・避難場所、避難経路が安全であるとは思えない。
  - ・災害が少ない県であるため、日常の防災意識が薄く、避難できないと思う。
  - ・有事の際に正確な情報が入るとは思えない。

設問 20 災害に対する備えについて ※複数回答



- その他
- ・避難所マップの周知徹底
  - ・啓蒙活動
  - ・災害用品の備蓄
  - ・日頃からの情報発信
  - ・ガイドラインの作成
  - ・介助を要する方の避難方法の確立

※ 問 18、19、20 より、「地域互助に不安」があることと「緊急時の情報」が不足しているために、もしもの時に「避難できない」と諦めの回答をした方が39.9%にも上がることがわかる。また、「日頃の安否確認など」、「定期的な避難訓練」「台帳整備」「マップづくり」が災害に対する備えとして必要性を挙げられている。

- 高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉など魚津市の福祉施策に関する意見
  - ・利用者の声を適宜確認し、効果的な施策を作してほしい。
  - ・出産や育児に対する社会資源が充実した街になれば良いと考える。
  - ・予防と支援を柱に全員が参加しやすい環境を作してほしい。
- 特殊詐欺被害や他国籍集団による犯罪被害防止の意見
  - ・警察との連携を強化すべき。
  - ・アジア系の人が集まっている場についての対策。
- 地元企業と連携した福祉のまちづくりに関する意見
  - ・企業とも連携してITなども積極的に活用した福祉のまちづくりを行ってほしい。
- 地域福祉の人材育成や地域福祉のあり方に関する意見
  - ・地域の福祉人材が育たない状況を改善してほしい。
- 地域住民同士の付き合い方に関する意見
  - ・昔のように隣近所がコミュニケーションを取りやすい環境を作してほしい。
  - ・地域の空き家を活用し、誰もが集まれる場所を作してほしい。
- 児童や子育ての環境に改善を求める意見
- 災害時の備え(情報把握)に対する意見
  - ・災害時に援護が必要な方の把握など地区ごとの情報整備が必要である。
  - ・行き過ぎた個人情報保護がマップづくりを阻んでいる。
  - ・避難所となる学校と一緒の避難訓練が必要。
- 市全体のまちづくりの方向性に対する意見
  - ・福祉以外の機関とも連携しないと街としてレベルアップはしない。

## (2) 課題別当事者ヒアリング 高齢者部会 回答数 185人

○ 年齢

年代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
回答数：人	21	66	82	18	185
(%)	(11.4)	(35.7)	(44.3)	(9.7)	(100)

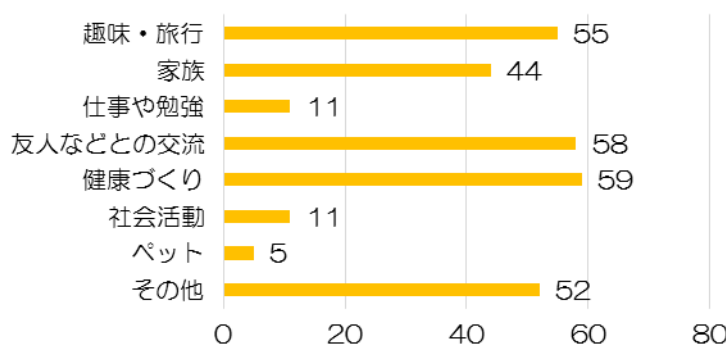
○ 性別

男性	女性
57	128
(30.8)	(69.2)

○ 家族構成

年代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
回答数：人	21	66	82	18	185
(%)	(11.4)	(35.7)	(44.3)	(9.7)	(100)

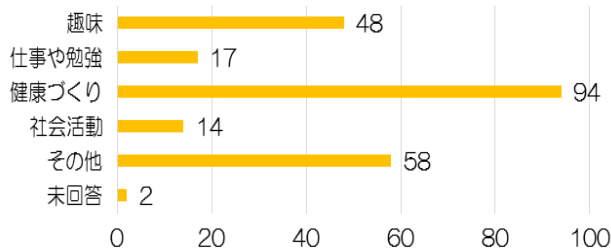
問4 生きがいは何ですか。



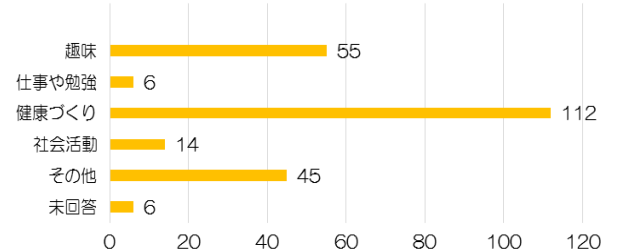
その他の回答（多数回答）

- ・デイサービスに行くこと
- ・何も無い
- ・テレビをみること
- ・百楽荘に行くこと
- ・カラオケ・歌をうたうこと
- ・元気であること
- ・サロンに参加すること
- ・家事全般 など

問5 がんばっていることは何ですか。

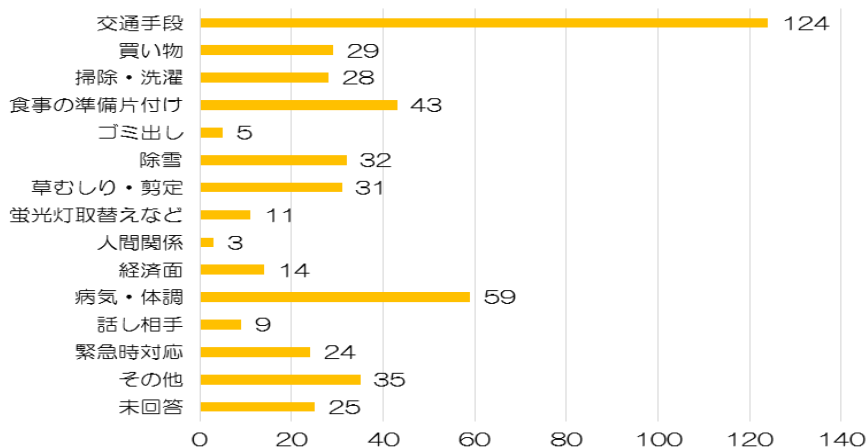


問6 がんばりたいことは何ですか。



※ 2と3ともに、家族に迷惑にならないように健康に注意し、自宅で暮らすことを望んでいる。

問7 困りごとは何ですか。



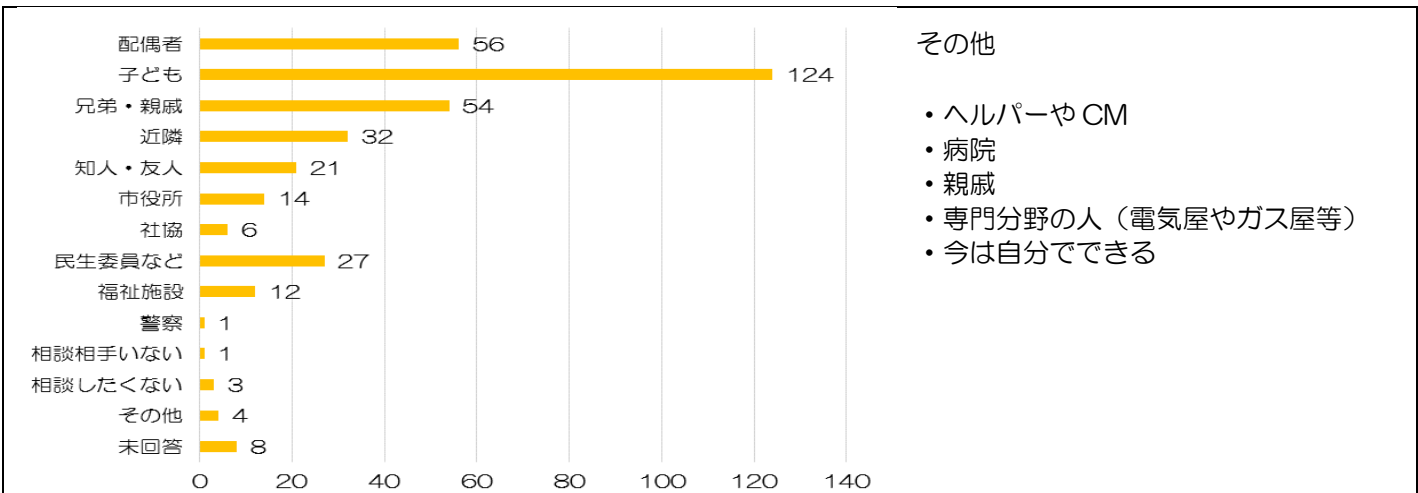
問8 具体的な悩み

- ・体力低下（移動や物持ち運び等）
- ・視力・聴力低下
- ・一人暮らしの不安（災害、話し相手がいない、家事等）
- ・交通の便（バス停がない、タクシー代等）
- ・近所の友人の減少（施設入所や死亡による）
- ・雪かき（除雪車の雪塊や雪捨て場）
- ・年金支給額の減少
- ・畑や庭の草むしり、墓そうじ
- ・外出したくない、引きこもりがち
- ・息子夫婦今後の金銭のこと

※ 交通手段の困りごとが多く、コミュニティバスだけでなく交通の便を改善するための対応が必要である。

問9 相談先は誰（どこ）ですか。



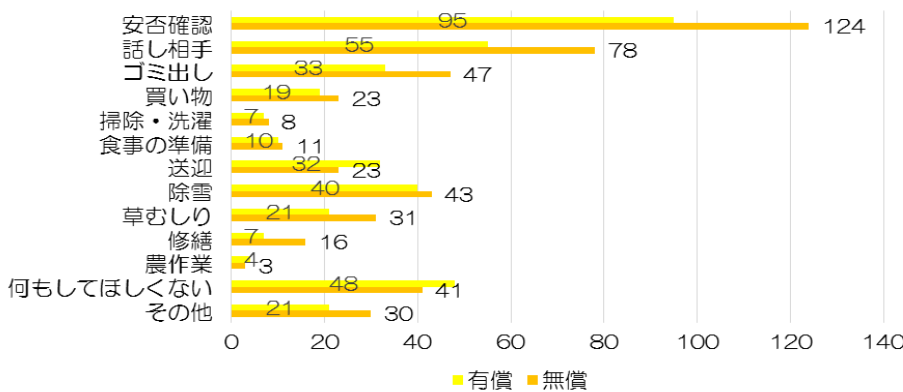


その他

- ・ヘルパーやCM
- ・病院
- ・親戚
- ・専門分野の人（電気屋やガス屋等）
- ・今は自分でできる

※ もっとも家族に相談している人が多い。「相談相手がない」「相談先がわからない」も少数だがあるので対応の必要がある。

問 10 地域の方にしてほしいこと（無償） 問 11（有償）

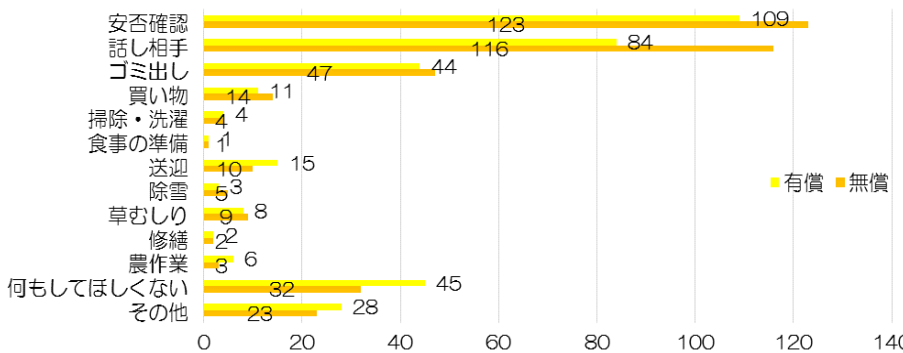


その他

- ・家族にお願いする
- ・自分でできる
- ・なし
- ・地域の役員や当番
- ・お願いすることに気が引ける
- ・車に乗れなくなった時の移動
- ・どこかの福祉施設に入りたい
- ・夫婦共に動けなくなった時は、生活全般助けが必要となる
- ・墓そうじ
- ・生活補助

※ 「安否確認をしてほしい」との意見が多くあるが、「何もしてほしくない」との意見もあるため、対応に注意が必要である。

問 12 困っている人に何をしてあげられますか（無償） 問 13（有償）



その他

- ・自分のことで精一杯
- ・できない
- ・できることがあれば支援したい
- ・周りの人は元気で支援が必要ない
- ・具体的な依頼があれば、できる範囲で

※ 安否確認や話し相手はできるとの意見が多く、要支援者であっても地域の一員としての役割ができる。

問 14 どんなサービスがあればいいですか。

- ・買い物につれていってもらえるサービス
- ・移動販売や御用聞き等がきてほしい
- ・富山型デイサービスのようない地域密着型（顔見知りの人と一緒に生活できる）
- ・重いものが運べなくなったので、運んでほしい（古新聞等）
- ・サロンや体操教室を開いてほしい（増やしてほしい）
- ・子どもから高齢者まで気軽に出入りできる交流の場
- ・難聴や視力低下があっても、気軽に参加できる、イベントづくりや環境づくり
- ・夜の安否確認や訪問介護
- ・話し相手
- ・低額タクシー（黒部市のような）
- ・現在のサービスで満足している
- ・特別なサービスは思いつかない

※ ニーズは「買い物」「交流の場」「福祉サービス」と大きく3つに分けられる。

障がい者部会 回答数129人

○ 年齢

年代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	未回答	合計
回答数(人)	4	13	19	29	24	29	8	3	129
(%)	(3.1)	(10.1)	(14.7)	(22.5)	(18.6)	(22.5)	(6.2)	(2.3)	(100)

○ 手帳の区分

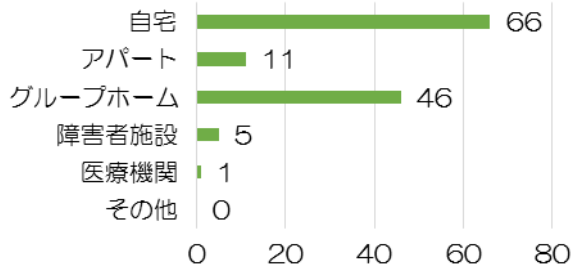
障害区分	身体	精神	療育	なし	未回答	合計
回答数：人	24	39	37	23	6	129
(%)	(18.6)	(30.2)	(28.7)	(17.2)	4.7	(100)

○ 性別

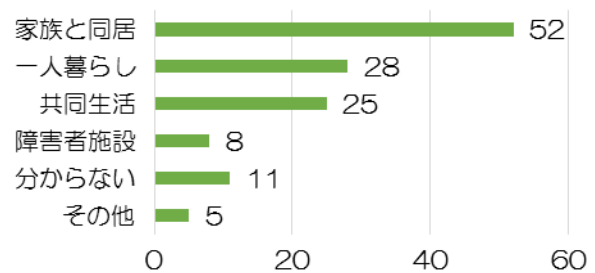
	男性	女性	未回答
回答数：人	84	43	2
(%)	(65.1)	(33.3)	(1.6)

※ 年齢、障がい別に均等に聞き取りした。

設問 1 現在暮らしている場所

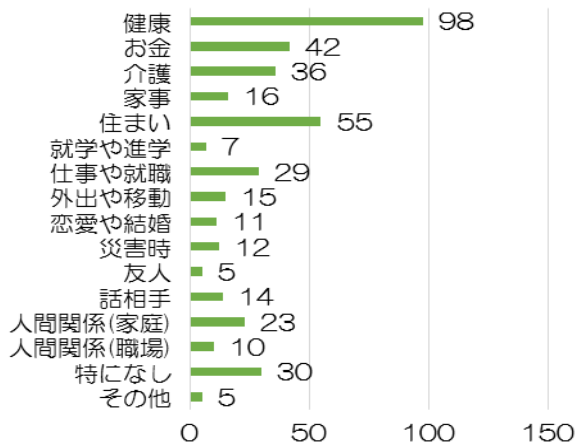


設問 2 今後の暮らしについて



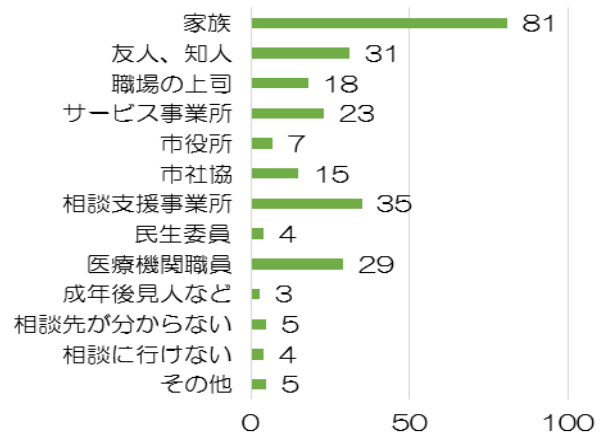
※ 1と2を比較して、このまま家族と自宅暮らしたいと希望している方や、集団生活よりも自立した生活を望んでいると言える。

設問 3 悩みや相談ごと（複数回答）



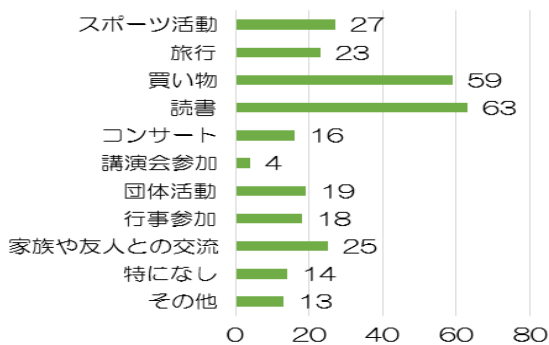
※ 健康や住まいの悩みが多く、その他の回答数も万遍なくあり、多くの悩みを抱えながら生活していることがわかる。

設問 4 相談先（複数回答）

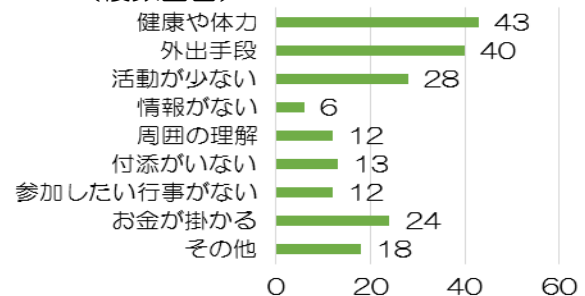


※ 家族や専門職・医療機関に相談している。「相談先がわからない」「相談に行けない」も9ケースあるので対応が必要である。

設問 5 趣味的な活動について（複数回答）



設問 6 趣味的活動を行う際に不便だと思うこと（複数回答）



・人の目が気になり、外出に不安がある  
 ・外出先でのトイレに困ることがある

※ 問5, 6から、趣味活動を持ち活躍の場を持つ人もいるが、健康や体力の問題や付き添いがいないなどの理由から、外出の機会が少なく活動が制限されていることがわかる。



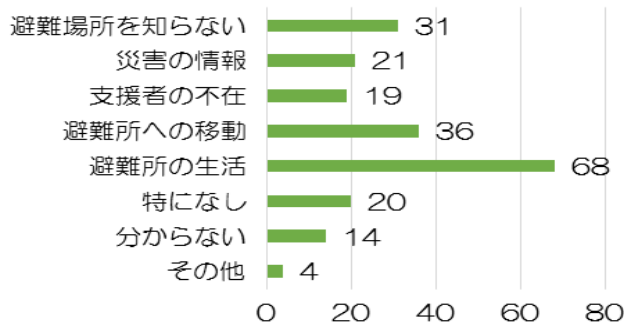
設問 7 外出頻度や方法について（自由記述）

- ・バスの本数が少なく、外出頻度が制限される。
- ・バスの停留所まで遠すぎて外出がし難い。
- ・市民バスを利用した時に他の乗客から「障がい者はバスに乗るな」と言われた。
- ・買い物に行きたいが、買い物代より交通費のほうが高いため、買い物に行けない。
- ・通勤の手段が自転車しかないので、なかなか思うようなところに就職できない。
- ・運転ができないため、家族や友人の都合に合わせてしか外出することができない。 など

※ タクシー利用では経済的負担が大きく、外出を控えている声も多く、徒歩や自転車利用者も多い。

※ バスを利用している回答者が多いが、「バスの本数が少ないこと」「バス停が障害者交流センター等の利用施設から遠いこと」が課題としてあげられている。

設問 8 災害が起こった際の不安（複数回答）



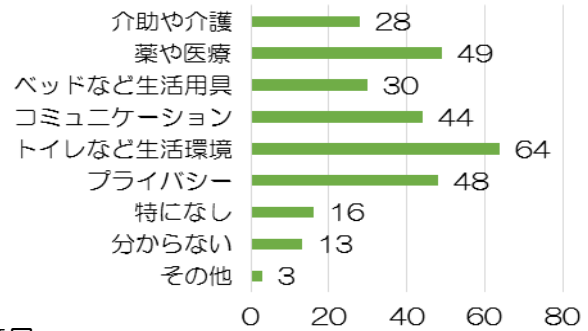
意見

自分が家族や近所の方の避難の妨げとなるような気がして不安になる。

介助がないと避難できないので災害が起きたら諦めるしかない。正確な情報が入るか不安である。

※ 避難所生活の不安が一番多く、避難場所を知らないなど、障がい者への情報が不足していると思われる。また、避難時には介助が必要な方は、避難について「諦めるしかない」と考える方もいる。

設問 9 避難所で困ると思うこと（複数回答）



意見

車椅子、ベッド、トイレなど相応の環境が必要になるので、学校や公民館など一般的な避難所での生活は困難と考えている。

※ ベッドや車いすなどの本人に合った用具が必要な環境の方は、「避難所生活は困難」という回答が多い。また、介助や介護の支援が受けられるかという不安も多い。

※ 薬やプライバシーの不安は障がい者以外も共通の不安であると思われる。

設問 10 地域のために「これならできるかも・・・」と思うものについて（自由記述）

- ・障がいについて小学生や中学生に対し、伝えること（福祉教育）ができる。
- ・建物や乗り物の使いやすさについて障がい者の立場から意見を述べるができる。
- ・理解のある人と一緒ならば、地域のゴミ収集や清掃活動に参加できる。
- ・お年寄りや地域の方々とお話し（見守り）をすることができる。
- ・作品などを展示会や地区の文化祭などに出品することができる。
- ・パソコンの講師などであれば役に立つことができるかもしれない。 など

その他の要望・意見

- ・障がい者は自身のことを理解してもらおうとするが、周囲の人のことを理解しようとする気持ちが薄い。障がい者自身も周囲の人に気を配らないといけない。
- ・障がい者雇用に関する情報がどこから発信されているのか分からない。
- ・病気や怪我により中途障がいとなった者がリハビリできる環境（施設 or 病院）を作ってほしい。
- ・車椅子など日常生活用具の交付に時間が掛かり過ぎる。
- ・介護保険に移行する年齢になると福祉用具にリース代が発生し経済的な負担が重くなる。
- ・障がい者が車椅子で移動できる程、道路の整備が為されていない。

※ 障がい者当事者が「社会でできること」として意見をあげている。

支援される側という考えだけでなく、障がい者も地域の一員として役割を持った生活ができる機会を充実させて相互の支え合いを推進すべきである。

# 子育て部会 回収数 177人

○ 回答していただいた保護者の年齢

年齢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	合計
回答数：人	10	97	68	2	177
(%)	(5.7)	(54.8)	(38.4)	(1.1)	(100)

○ 性別

男性	女性
9	168
(5.1)	(94.9)

○ お子さんの年齢

年代	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小学低学年	小学中学年	小学高学年
回答数：人	4	15	17	12	10	15	87	13	4
(%)	(2.3)	(8.5)	(9.6)	(6.8)	(5.6)	(8.5)	(49.1)	(7.3)	(2.3)

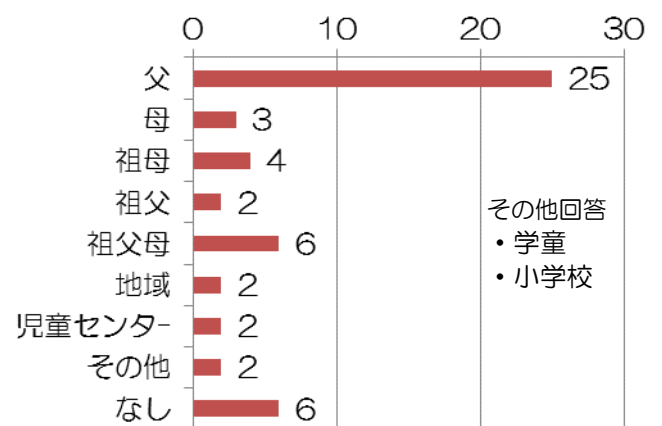
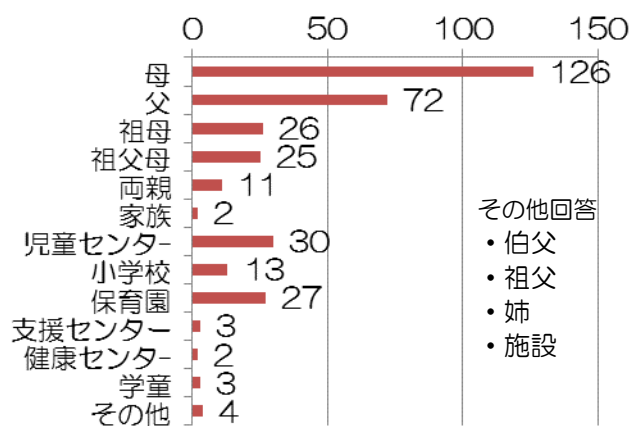
お子さんから見た家族構成

続柄	父	母	兄	姉	弟	妹	祖父	祖母	曾祖父母	その他
回答数：人	158	177	48	34	26	36	36	54	8	7

保護者の就労状況

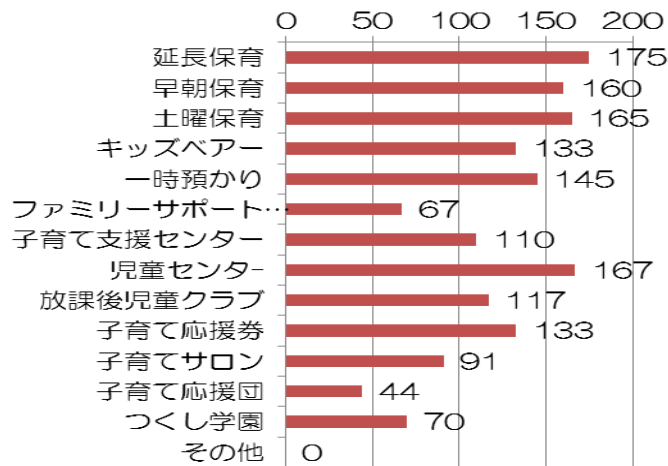
就労状況	父	母	その他
フルタイムで就労	162	91	1
フルタイム・パート・アルバイト (産休・育休・介護休暇中)	0	10	1
パート・アルバイト	0	55	1
現在は就労していない	1	20	2
就労したことがない	0	0	0
無回答	14	1	172

問6-1 子育てに日常的に関わっている方(複数回答) 問6-2 子育てに関わってほしい方(複数回答)

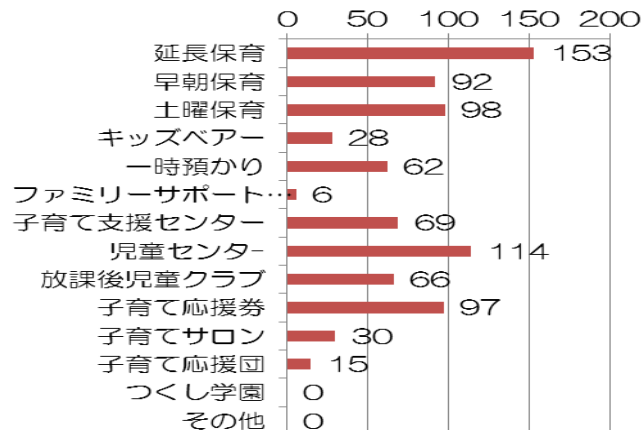


※ 主に家族が子育てに関わっている。今後、家族だけでなく、児童センターや地域にも関わってほしいと要望がある。

問7 知っているサービス（複数回答）

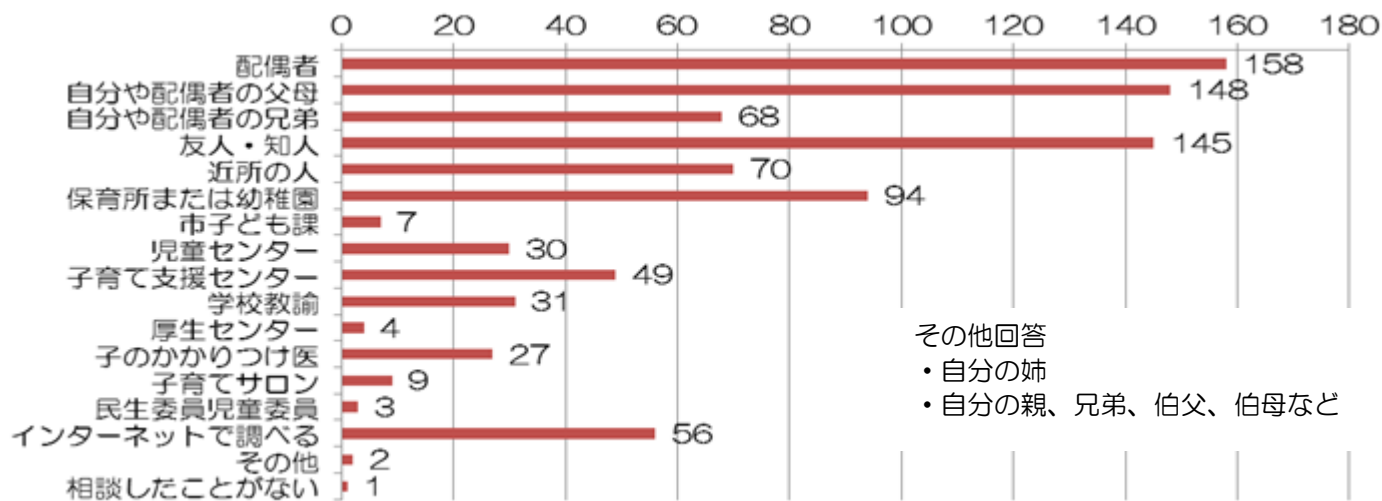


問8 利用したことのあるサービス（複数回答）



※ 認知度が低いサービスは周知方法を検討して、生活状況や課題に沿ったサービスであるよう見直す必要がある。

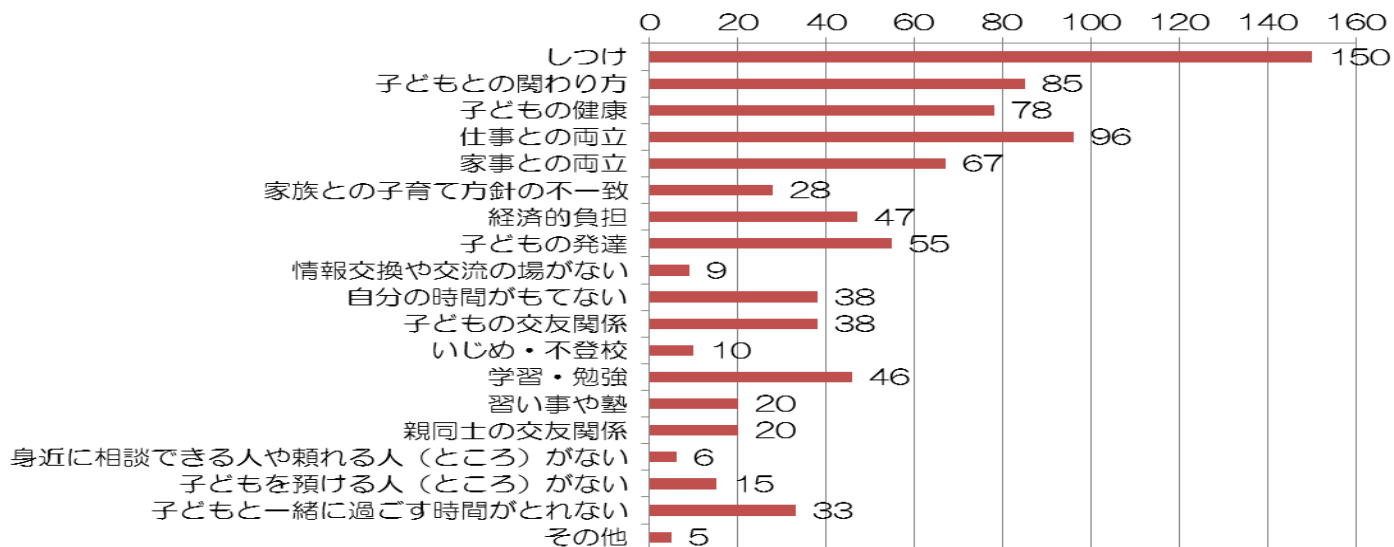
問9 相談先（複数回答）



※ 主に家族に相談しているが、専門機関も活用されている

問10 相談したことのない理由 1名のみ  
6人目の子どもの為

問11 子育ての悩み、大変さ（複数回答）



その他回答 ・軽度知的障害（グレーゾーン）の子どもの教育、学習、就職など  
 ・介護との両立 ・子どもの体調不良時の一時保育、病児保育料金が高く感じられる  
 子育ての悩みや大変さ、あったらうれしいサービスについて

問 12、問 11 の設問の悩みを具体的に教えてください。

問 13、その悩みの解消のために、どのようなサービスがあったらうれしいですか？

悩み	回答数	あったらうれしいサービス
子どもの発達段階に応じた悩み 計	97	
子どものしつけ方や関わり方がわからない	25	サービスのわかりやすい広報…1件
家とそれ以外の場での子どもの様子が異なる	6	子どものしつけや関わり方、子育てに関する講演会の実施や相談サービス、アドバイス本(Q&A)、子育て新聞などの発行…8件
いたずらが多い時、イヤイヤ期の対応がわからない	9	友達のような、少しおそれられるような大人の存在…1件
好き嫌いや食べ方など食事のことで悩む	5	今まで通り宿題を終えてきてほしい…2件
おもちゃやゲームの使い方で悩む	2	復習できる場がほしい…1件
言葉遣いが悪くて悩む	3	放課後補習…1件、宿題内容の見直し…1件
兄弟関係のことで悩む	3	英会話、リトミック、ダンス、運動など土日の習い事充実…1件
不登校の状況が続いている	1	塾や習い事への送迎…4件
宿題を見てあげられないなど勉強のことで悩む	8	1、2年生の自転車乗車許可…1件
送迎が難しいなど習い事のことで悩む	8	検診のように専門医への相談…1件
喘息や肌のトラブルなど子どもの健康面が気になる	3	病院での待ち時間の解消…1件
子どもの発達が気になる	5	子どもの発達の相談場所…1件
障がいのある子の将来が心配	1	障がい児の支援体制の整備…3件
子どもの交友関係が気になる	12	祖父母のための子育てガイドブック発行…1件
家族と子育て方針が異なる	6	
頼るところや話しできるところがない 計	32	
情報交換や交流の場がない	9	親同士の交流や情報交換できる場…10件
身近に相談できる人や頼れる人(ところ)がない	8	今まで通り支援センターや児童センター、保育所などで相談…2件、電話、ネットやメールなど土日祝日夜間も気にせず相談できるサービス…13件
短時間または病気の時、子どもを預ける人(ところ)がない	15	土日祝日夕方など、学童保育や保育所、家などで、預けられるサービス…10件、予約なしで預けられるサービス…1件 病気の際、保育園から病理保育所へスムーズな移動サービスなど…6件、土曜日は半日へ登校…1件 保育園や学童延長…1件 病児保育の見学…1件 老人ホームなどに託児の併設…1件
子育て・仕事・家事等との両立が難しい 計	56	
子どもと一緒に過ごす時間がとれない	32	家事をサポートするサービス…2件
子育てがとても大変	13	スーパーでの一時保育…1件
休暇がとりづらいなど職場環境に不満がある	3	働きながら子どもと過ごせる事業所…1件 男性も休暇がとりやすい、時短勤務のある職場…4件
自分の時間がもてない	7	学童での弁当支給…2件
学童の夏休みの弁当づくりが大変	1	
経済的負担が大きい	4	保育園無料化、バザー開催、子ども医療費受給の延長などの経済的支援…6件、景気回復…1件
嫌がらせを受けるなど親同士の交友関係に悩む	2	
雨の日は特にだが、遊び場がない	4	公園や施設の充実、イベントの開催…12件

※ 現在の社会と子育て世代のニーズや課題を見直し、ニーズに沿った取り組みの推進が必要である。

### (3) 地域福祉座談会 出席者 632 人

日付	9/26	9/23	9/28	10/7	10/14	9/29	9/21	10/4	10/20	9/27	10/13	9/14	9/16	
地区名	大町	村木	下中島	上中島	松倉	上野方	本江	片貝	加積	道下	経田	天神	西布施	市合計
参加人数 単位：人	54	30	46	45	22	57	73	36	60	58	60	31	60	632
グループ数	6	4	4	5	4	7	7	4	6	6	8	4	7	72

#### 大町地区地域福祉座談会結果

<b>地域の特性</b> 自然…魚や水がおいしい、海に近い 夕日がきれい、蜃気楼が見える 文化…神社仏閣が多い、神輿やたてもん 城址があり文化のまち コミュニティ…絆が深い、近所の仲が良い 見守りが充実している 高齢者が生き生きしている インフラ…駅、バスが走り交通の便が良い 融雪装置やアーケード、病院がある 町部なので過ごしやすい、コンパ外なまち 組織…公民館を中心として活動が活発	<b>今後、取り組みが必要なこと</b> <b>サロンの強化</b> ・歩きが苦手な人も参加できる ・サロン間交流 ・年1～2のミニサロン開催 ・場所…小学校跡地、空き家 ・利用者…富山型大町デイ(子供から高齢者まで) ・内容…趣味の場、相談できる友達や若い人が住みやすい集まりの場 <b>空き家の活用</b> ・空き家のデータベース化と移住の促進 ・麻雀大会、井戸端会議の開催 集まりの場へ出かける <b>フットワーク支援</b> (地区のコミュニティバス) ・費用 チケット制、半分市の負担 ・大きさ ワゴン車で移動 ・運転 地域の運転手募集 <b>観光地強化</b> 蜃気楼の見える海水浴場、釣り堀、レストラン 寺巡り 大町歴史めぐりマップづくり、神社仏閣を活かし一体化した観光 担い手 高齢者のボランティア
<b>地域の課題</b> 少子高齢…子どもや若い世代がおらず、高齢者のみ世帯が多い 若い人の参加するイベントがない 出会いの場がない 買い物…買物できる店がない 空き家…シャッター街、空き家の老朽化や雑草 インフラ…道が狭い、交通機関 駐車場がない 移送…医者や薬をもらいに行きづらく困る 相談機関…相談できる機関がない	

#### 村木地区地域福祉座談会結果

<b>地域の特性</b> 自然…山からの日の出が見られる、夕日がきれい 文化…灯籠流し、たてもん祭りがある コミュニティ…良い意味の縦社会がある 家が密集しており変化に気づきやすい 近所で声掛けあっている 祭りに向けて一致団結する インフラ…銭湯、公園が多い地区、病院・駅・商店街・学校・金融機関が近い	<b>今後、取り組みが必要なこと</b> <b>ジュニア福祉活動員の育成</b> 方法…手紙や花鉢を持って訪問。 ・会えないときは、区長、近隣に様子を聞いたり、メモを残したりする ・見守り活動の情報交換、参考になる話を聞く。
<b>地域の課題</b> 少子高齢…独居高齢者が多い、見守り対象者が多い 難聴者の対応を教えて欲しい 学童保育がない、遊び場がないスポーツ少年団が成り立たない 未婚の男女が多い 交流…交流行事の減少 声掛けすると不審者扱い 担い手…民生委員と福祉推進員 ボランティアがいない 自治会長等の役職者に負担が大きい 小学校統合…若夫婦の流出、小学校跡地の活用 インフラ…シャッター商店街	<b>交流拠点づくり</b> ・「アジト」の雰囲気があればいい (本を読み、お茶が飲める) ・場所…各町内単位、公民館跡地の利用(放課後児童等) ・担い手…定年後の世代、市当局が対策を検討 ボランティアグループの立ち上げ <b>交流行事を増やす</b> 子どもや若い世代が参加したくなる地区運動会 祭の伝承



## 下中島地区地域福祉座談会結果

<b>地域の特性</b>	自然…海・山が近く景色がきれい、釣りができる 畑や田など自然豊か インフラ…小学校が近い 駅やバス停がある ミラージュランド、水族館などの観光資源が充実 大型ショッピングセンターがあり買物しやすい コミュニティ…近所の仲がよい、新興住宅地がある 地域活動が活発	<b>今後、取り組みが必要なこと</b>  20代も30代も参加する多様なメニューを企画 特に若い人で中心になってくれる人がいればよい 開催頻度：月1回○曜日 <u>野菜づくり体験</u> 講師：地域のプロ 対象：子ども、若者 場所：空き家で畑づくり→収穫祭を行い学校給食に活用 <u>交流の場</u> ・気軽に寄れる場（空き家、地区の公民館など） 管理方法：当番制 資金：地区社協（資金を見直す） <u>地区のコミュニティバスを運営</u> 資金：戸別に資金を集める 方法：タクシー会社に委託 要望：どこでも乗降可能で高齢者にも乗りやすい工夫 <u>子どもの通学時の安全確保</u> 内容：旗持ち（朝）、見守り（下校時）、挨拶・声掛け 青パト巡視（10日、20日、30日） ・子どもにも地区活動に参加してもらい顔見知りになる
<b>地域の課題</b>	少子高齢…一人暮らし高齢者増加、子どもが少ない 担い手…役員のみならず、若手のリーダーが少ない 高齢者ばかりで明るさや多様性がない コミュニティ…近所の方と会う機会が少ない 空き家…空き家が増えた、空き家の管理 交流…参加者が少ない、サロンに人が集まらない 世代間交流が少なくなった 移送…車に乗れない高齢者の移動手段がない バスを利用したいが段差が多い インフラ…交通量の割に道路が整備されていない	

## 上中島地区地域福祉座談会結果

<b>地域の特性</b>	自然…自然豊か、農地が多い、農産物も豊富 文化…祭りが継承されている、神輿祭りが楽しい コミュニティ…ご近所仲よし、見守りしている 高齢になっても元気な人が多い インフラ…8号線が近い、もくもくホールがある 組織…地区活動が活発である 配食サービスや子育てサロンをしている 交流…三世代交流が多い	<b>今後、取り組みが必要なこと</b>  <u>サロンの強化</u> ・子どもも高齢者も参加できるサロンの実施 ・男性、子育て世代・家族でサロンに参加しやすい企画 「良い夫婦の会」のネーミングなど ・空き家を活用し、近所に気軽に集える場をつくる <u>他世代交流</u> 場所：公民館、体育館 内容：飲み会、しめ縄づくり 方法：青年に参加を呼びかけ、リーダーとする、 費用：地域振興会がもつ 案内：広報にチラシを入れる その他…上中島まつり継続、ダンスやコスプレパーティー、運動会、 街流し 神輿巡回や獅子舞の復活 加齢による困りごとを見込んで運動等する 福祉教育 意識の変革 ・身体障がい者にもやさしい地域づくり ・人を思いやる気持ちを高める研修会の実施 <u>子どもの安全確保</u> ・登下校時の見守り体制の強化 頻度：可能であれば毎日 方法：車で巡回、老人クラブや防犯組合と連携
<b>地域の課題</b>	少子高齢…子どもが少ない、高齢化が進んでいる 独身者が多い、他市町村への人口流出 担い手…役員のみならず、神輿のかつき手不足 コミュニティ…近所付き合いがない 困っている人に気づいても遠慮される 交流・イベント…子どもと高齢者の交流機会が少ない 移送…高齢者の移動が困難、お店が少ない（高齢者の買い物） インフラ…交通量の割に道路が整備されていない	

## 松倉地区地域福祉座談会結果

<b>地域の特性</b>	歴史/文化…松倉城址がある、金山谷獅子舞がある 自然…自然豊か、山菜が豊富 小菅沼から見た景色がよい コミュニティ…近所のつながりが深い、人柄がよい 民俗芸能など継承の思いが強い 運動会が盛り上がる、子どもが素直で元気 インフラ…角川ダム、旅館、温泉がある、ゴルフ場	<b>今後、取り組みが必要なこと</b>  <u>「もちより市」を企画・運営</u> （若者が地域に残る環境づくり） 周知し、若者ととともに企画運営をする 若者が発信し、若者を集める（他地区からの来場OK） 頻度：年間通して 財源：販売で得た収益 内容：屋台、イノシシ鍋や山菜料理をふるまう 魚のメ方、イノシシのさばき方 子どもの遊び場 松倉のしめ縄を70代～80代の方から教わる ダンスの発表会（高校生が講師のダンスサークル等） 山菜取り体験教室など、人気商品である草もちを販売 <u>交流の場づくり</u> （簡単で参加しやすい地域行事を増やす） ・子どもと高齢者の交流施設（温泉で息抜きできる施設） ・松倉で3地区の交流会実施 <u>情報発信</u> 内容：イベント情報、素晴らしい景色 発信者：育成会 農業の担い手育成、定住者の確保 農業サポーターの確保 グリーンツーリズムへ呼びかけ
<b>地域の課題</b>	少子高齢…子どもが少ない、高齢化が進み10年後が心配。 若い人がいない、過疎化が進行 コミュニティ…人口減少に伴う対話の場の減少 仲のよいので外から来た人は入りにくい 空き家…空き家が増えている インフラ…中学校への通学が不便、道路に歩道がない 幹線道路の整備が遅れている、店がない 災害…急傾斜地が多く土石流の対策が必要 災害時の避難場所 若者が日中いないため、避難が困難、 鳥獣関係…猿、猪、カモシカの出没被害が増加 担い手…農業の後継者がいない	

## 上野方地区地域福祉座談会結果

<b>地域 の 特 性</b>	自然…高台から海と山が一望できる 水がうまい 果物が豊富でおいしい、畑が多い コミュニティ…高齢者が元気、人が良い 野菜のおすす分けがある 責任感のある人 が多い スポーツ人口が高い 組織…若者が積極的にイベントに参加、婦人会活動有 文化…ちょうろく 環境…道路が広い、インターチェンジが近い 運動ができる公園が広い	<b>今後、取り組みが必要なこと</b> <u>軽トラ市</u> ・歩きが苦手な人も参加できる・地場産野菜、果物の即売 ・高齢者の集まりの場 ・場所…桃山運動公園(バスの乗り入れ要望、パークゴルフ場設 置)、小学校跡地、ゴミステーション ・内容…元気な高齢者の活動の場、集いの場 来られない方に、買い物代行する <u>移送支援</u> ・コミュニティバスの無料化、増便 ・高齢者専用車両 <u>上野方の百楽荘</u> ・麻雀、将棋、カラオケができる施設 ・歩いて行ける銭湯 <u>三世代教室</u> 場所…小学校跡地 担い手…教員経験者、振興会の各部会当番制、NA センター 内容…宿題、伝承遊び、そろばん塾、ミニ運動会
<b>地域 の 課 題</b>	学校統合…子供の遊び場が減る 小学校合併するとプールがない インフラ…交通の便が悪い、歩道の整備、信号機が不足 コミュニティ…行事の参加が少ない、男性の参加が少ない 集いの場が少ない 情報が伝わりにくい 移送…医者、店がない、買い物が不便	

### 本江地区地域福祉座談会結果

<b>地域 の 特 性</b>	自然…果樹園、農家が多い コミュニティ…人が多く情報も多い、若い世代が多い 子供が多い、元気 インフラ…スーパーがあり買い物に便利、介護施設や公共施 設が多い、病院が多い、学校が近い、インターチェンジ が近い 組織…サロンが多い	<b>今後、取り組みが必要なこと</b> <u>体育大会参加者アップ</u> リーダー…退職後の人、ママ友リーダー 競技内容…子どもの競技を増やす、ルール変更検討 参加特典…弁当、見るだけOK、景品見直し 資金…補助金活用 ・場所…1階、空き家
<b>地域 の 課 題</b>	インフラ…側溝の整備、道幅が狭い 移送…移動手段がない 集いの場…公民館が2階にあり利用しづらい コミュニティ…個人主義で興味や関心がない人が多い 情報が伝わりにくい 組織…担い手不足、コミュニケーションに欠ける、知らない人が多 い、強力なリーダーがいない 防災…避難場所がない、公民館は不適切、援護者の状況 を把握できていない	<u>世代間交流</u> ・ラジオ体操参加 ・サロンに小学生、中学生も参加 ・子供見守り隊を増やす ・地区であいさつ運動をする 世話をする人の養成 ・各町内の青年部の交流企画 <u>防災対策</u> ・要援護者名簿の作成(本人の了解) ・防災訓練の定期開催 ・地域で数人の班を決める ・振り返りをして課題を見つげ次に活かす。

### 片貝地区地域福祉座談会結果

<b>地域 の 特 性</b>	自然…空気・水がおいしい、山菜・米がおいしい、 片貝川・洞杉・蛇石・沌滝がある 毛勝三山、僧ヶ岳の景色・紅葉がきれい 文化…花火大会、紅葉祭りがある コミュニティ…団結力がある 仲が良く情が深い 責任感が強い人・リーダーが多い 生活環境…水力発電所、山の森キャンプ場・県指定公園 がある 立派な旧片貝小学校がある	<b>今後、取り組みが必要なこと</b> <u>空き家・休耕田の活用</u> ○地域人口を増やす ・定住者・移住者の呼び込み(山の森キャンプ場の利用、蛇石・ 洞杉散策) ・宅地やアパートの建設 ○宿泊施設へ改築(案) ・大学女子野球の宿泊施設 ・学生の合宿施設 ・各種団体向けの宿泊施設 ・移住者のための体験宿泊施設 ○利用者数増加を見込んだ施設へ改築 ・グラウンド(ナイター設備、芝生化、公園化) ・24時間使用できる ・体育館の昼間解放 ○地区住民のための活用 ・サロンやサークル活動
<b>地域 の 課 題</b>	少子高齢化…高齢化が進んでいる(若者が市街地、都市 へ出ていく、子どもが少ない) 一人暮らし高齢者、未婚者が多い 生活環境…雪が多く、店がない(遠い) インフラ…交通の便が悪い、道が狭い 旧小学校…管理者の高齢化、グラウンドの管理困難 宿泊施設として利用できない(住民以外利用 されていない)土・日曜日の利用が少ない 鳥獣被害…猿・猪による農作物被害 電気柵の設置が大 変	<u>鳥獣被害対策</u> ○鳥獣減少 ・猿・猪の徹底捕獲と処分 ・地区ごとにわな猟免許の取得 ○侵入防止の強化・電気柵の拡充 葉、匂いの散布

## 加積地区地域福祉座談会結果

### 道下地区地域福祉座談会結果

<b>地域の特性</b>	自然…特産の加積りんごがありおいしい 片貝川清流と立山連峰眺望が美しい 文化…公民館活動が活発で、サークル活動が盛ん 地区のイメージキャラクターの歌や踊り コミュニティ…団結力がある 地域愛が強い 責任感が強い人・リーダーが多い インフラ…地域が広く魚津の中心部に位置 保育園から高校まで存在 総合病院(労災病院)、生活に必要なものは手軽に調達できる	今後、取り組みが必要なこと <b>交流の場の創出</b> ・若い世代や子供たちが参加しやすい交流の場の創出 ・身近なたまり場づくり ・ビデオ観賞会開催し、親子や高齢者と交流 <b>サロンや地域住民の間の交流とつながりづくり</b> ・健康麻雀、おしゃべり会、年1～2のミニサロン開催 ・場所…空き家の活用 集会場など ・利用者…子供から高齢者まで ・内容…相談できる友達や若い人が集まりやすい広報の工夫 ・移送の支援
<b>地域の課題</b>	空き家…空き家が多く、老朽化や雑草生えている 少子化…若い世代や子どもが少なく賑やかでない 交流…若者の行事が少ない 地域行事等への参加率が低い 人間関係が難しい 挨拶しても返ってこない 公園が近くに無い 高齢者…独居高齢者や2人暮らし世帯が増加 防災…災害時主道路の確保 近所の支え合い 担い手…町内や地区の役員のなり手がいない	<b>地域防災に関すること</b> 災害時の連絡網整備 援護者支援体制の地域課題を共有する 小地域単位の福祉マップづくり 防犯の観点から空き家等の巡回

### 経田地区地域福祉座談会結果

<b>地域の特性</b>	自然…海や山の景観が美しい、蜃気楼が見える海岸線がある 海が近く魚がおいしい コミュニティ…児童の見守りが充実している、挨拶がやさしい 一斉清掃等の参加率が高い 活動…ありそドームや海岸線でジョギングやウォーキングができる インフラ…魚津駅が近い、バスも交通の便が良い スーパーが近く、医院が多い、介護施設有学校、コンビニが近い、集合住宅が多い アパートが増え人口が増加、高齢化率低い	今後、取り組みが必要なこと <b>地域交流・世代間交流の促進</b> ・若者へのアンケート調査 ・世代別交流会の企画・運営 内容…ゲーム、レク、歩こう会、バンド、婚活パーティ等 場所…ありそドーム、景観の美しい海岸線など ・地区広報の工夫 ・積極的な声かけ運動 ・命のバトン情報シートをツールとした地域交流の促進 方法…緊急時助け合いグループやアパート住民の組織化 ・具体的な避難訓練の実施 <b>人材の育成</b> ・年代ごとに代表者で地区のことについて協議する ・道下版福祉人材バンクを作る 対象…主に子離れした年代～前期高齢者 登録内容…特技、技術など(ボランティア活動から地区のリーダーへ) ・地区役員交代時のルールづくり地区役員の任期延長 案…福祉推進員を3年任期、区長は2～3年任期へ 移動支援 ・バスルートを細分化 ・乗り合いタクシー導入
<b>地域の課題</b>	地域交流…振興住宅の把握が難しく連携が希薄 アパートと戸建ての住民の交流がない 若い世代と高齢者へ縦の繋がりが無い 集いの場…遊び場、図書館、公園がない サロンの開催場所・高齢者が集う場所がない 担い手…地区役員が2年で交代し意識が根付かない。 インフラ…道が狭い、生活道路の整備が遅い、 移動…地区が鉄道で分断され経路が制限される コミュニティバスの運行が少なく不便	今後、取り組みが必要なこと <b>買い物しやすい街づくり</b> ○わいわい市の充実 ・週1→週2～3、経田漁港+福祉センター、水曜日→日曜日、午前→夕方 ○持ち寄り市の開催 空き地利用、余った野菜、物々交換 ○経田内で行商をシステム化(ベロタクシーの活用) ○買い物バスツアーのシステム構築 ○近隣住民による買い物支援グループの創設 ○JA、JFに依頼し直販市を設置する <b>世代間交流を通じた人づくり</b> ○元気な高齢者に声をかけ「先生」になってもらう例)遊びの先生、歌の先生、踊りの先生など 場所)福祉センター 付随)子ども食堂を開催 ・子育てボランティアの育成 ○祭りなど文化行事を通じた遊びの伝承 場所)福祉センター、児童センター、空き家、公民館 希望)病児保育をしてもらえる人が出てきてほしい
<b>地域の特性</b>	自然…海が近く夕日がきれい、山がきれい、海産物が沢山ある、水が豊富、川がある コミュニティ…近所付き合いがよく団結力がある、地元愛が強い 女性に活力がある、顔見知り 組織活動…公民館行事、町内会活動、民生委員・児童委員、はまぐり会、育成会が活発、 インフラ…保育園から高校まで、バスや鉄道の交通手段、ボートヤード、公園、道路、港歴史文化…歴史ある寺、地引網ができる、花火大会開催、和田小学校と交流行事を継続	今後、取り組みが必要なこと <b>買い物しやすい街づくり</b> ○わいわい市の充実 ・週1→週2～3、経田漁港+福祉センター、水曜日→日曜日、午前→夕方 ○持ち寄り市の開催 空き地利用、余った野菜、物々交換 ○経田内で行商をシステム化(ベロタクシーの活用) ○買い物バスツアーのシステム構築 ○近隣住民による買い物支援グループの創設 ○JA、JFに依頼し直販市を設置する <b>世代間交流を通じた人づくり</b> ○元気な高齢者に声をかけ「先生」になってもらう例)遊びの先生、歌の先生、踊りの先生など 場所)福祉センター 付随)子ども食堂を開催 ・子育てボランティアの育成 ○祭りなど文化行事を通じた遊びの伝承 場所)福祉センター、児童センター、空き家、公民館 希望)病児保育をしてもらえる人が出てきてほしい
<b>地域の課題</b>	インフラ…緊急車両が入らない密集地、下水道の不備、街灯、横断歩道、病院がない 買い物…歩ける範囲に飲食店や店が少ない 空き家…空き家が放置(倒壊の危険や雑草の虫害) 少子高齢…児童減少、一人暮らし高齢者の増加 交流機会…行事の参加が少なく繋がりが薄い 人材育成…リーダー的な人がいない為役員が固定化、地区役員が高齢化	今後、取り組みが必要なこと <b>買い物しやすい街づくり</b> ○わいわい市の充実 ・週1→週2～3、経田漁港+福祉センター、水曜日→日曜日、午前→夕方 ○持ち寄り市の開催 空き地利用、余った野菜、物々交換 ○経田内で行商をシステム化(ベロタクシーの活用) ○買い物バスツアーのシステム構築 ○近隣住民による買い物支援グループの創設 ○JA、JFに依頼し直販市を設置する <b>世代間交流を通じた人づくり</b> ○元気な高齢者に声をかけ「先生」になってもらう例)遊びの先生、歌の先生、踊りの先生など 場所)福祉センター 付随)子ども食堂を開催 ・子育てボランティアの育成 ○祭りなど文化行事を通じた遊びの伝承 場所)福祉センター、児童センター、空き家、公民館 希望)病児保育をしてもらえる人が出てきてほしい

### 天神地区地域福祉座談会結果

<p>地域 の 特 性</p>	<p>自然…自然が豊か 緑が多い（果物・野菜が良く採れる） 景観が優れている（魚津市が見渡せる） コミュニティ…近所との付き合いが密である 住み良い場所である 事件や事故がない 施設…野球場がある 金太郎温泉がある 体育館がある 組織活動…天神文化スポーツクラブがしっかり活 動している てんじん地域振興会が活発</p>	<p>今後、取り組みが必要なこと</p> <p><b>移動支援・買い物支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティバスに乗れない人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗合タクシーの運行</li> <li>・移動販売車の誘致（コミュニティバスの利用を優先し、廃線としない対策が必要）</li> </ul> </li> </ul> <p><b>サロンの開催増加</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○空き家の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども・高齢者が一緒に集える場所</li> </ul> </li> <li>○代表者や指導者・世話人の養成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピンピンコロリサロンの全区展開</li> </ul> </li> </ul> <p>※新規サロン「おふくの会」が開設。</p>
<p>地域 の 課 題</p>	<p>インフラ…道路が狭く暗い、バスの停留所がない 少子化…若い世代や子どもが少なく賑やかでない 交 流…若者の行事が少ない 地域行事等への参加 率が低い 人間関係が難しい 挨拶し ても返ってこない 公園が近くに無い 高齢者…独居高齢者や2人暮らし世帯が増加 防災…災害時主道路の確保 近所の支え合い 担い手…町内や地区の役員のなり手がいない</p>	<p><b>地域の繋がり強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者の見守り <ul style="list-style-type: none"> <li>・近所との連絡を密にし、見守りの仕方の共有</li> </ul> </li> <li>○子どもたちの交流 <ul style="list-style-type: none"> <li>・経田・清流小学校に通う児童の交流の場づくり・自治会に加入していない世帯の子どもへの配慮</li> </ul> </li> </ul>

### 西布施地区地域福祉座談会結果

<p>地域 の 特 性</p>	<p>自 然…自然が豊かで静かで小川や田自然の遊び 場が豊富 水や空気おいしい、特産品 の果樹が豊富 立山大杉がある 文 化…伝承芸能 布施谷節と踊り、獅子舞 史跡や寺院など有名 コミュニティ…同居世代が多い 顔見知り 気立てよい 団結力がある 地域愛が強い 仲が良い みんな挨拶する こども同志の仲が良い インフラ…交通事故が少ない 細長い地形 保育 園が地域と密着 スーパー農道等整備され広い</p>	<p>今後、取り組みが必要なこと</p> <p><b>サロンや地域住民の間の交流とつながりづくり</b></p> <p>たまり場所 新公民館の活用 若い世代や子供たちが参加しやすい交流の場の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所…新公民館を西布施の新コミュニティの場</li> <li>・利用者…子供から高齢者まで</li> <li>・内容…相談できる友達や若い人が集まりやすい広 報の工夫</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「西布施の日」の充実</li> <li>・婚活事業の企画</li> <li>・移送の支援（乗合買い物タクシーの充実）</li> </ul>
<p>地域 の 課 題</p>	<p>インフラ…買い物に出るところが遠い バスの本 数が少ない コンビニや喫茶店がない 少子化…園児が少なく延長保育がない 小学校が 遠い 若い人が住まず結婚しない 交 流…若者の行事へ参加が少ない 地域の交流が少なく行事の参加率が低い 高齢者…一人暮らし高齢者の増加や要介護者増加 防災関係…主道路の確保 近所の支え合いが薄い 担い手…役員、農業 学童支援者の担い手不足 その他…猿・イノシシの被害を受ける</p>	<p><b>観光農園</b> 6次産業事業化と賑わい創出システムづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の生きがいとして働く場提供</li> <li>・体験型（栽培～収穫）</li> <li>・果樹・野菜・サツマイモ・花</li> </ul> <p><b>既存の組織を繋ぐ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・援護者支援体制の整備</li> <li>・地域課題を共有する</li> <li>・リーダーの育成見据えながら</li> </ul>

## (4) 企業及び団体の地域貢献に関する意識調査 回答140社

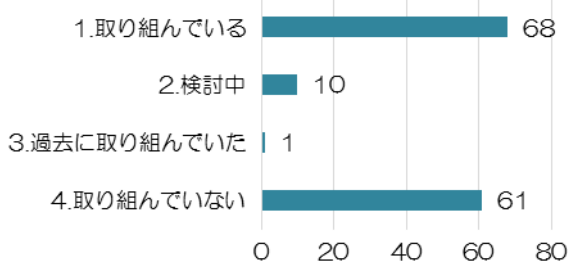
年代別アンケート回答・・・140社

アンケート回収率・・・140枚/568枚 ≒24.6%

従業員数	0～9人	10～19人	20～49人	50～99人	100人以上	未回答	合計
企業及び団体数 (%)	75社 (53.5%)	18社 (12.9%)	15社 (10.7%)	12社 (8.6%)	12社 (8.6%)	8社 (5.7%)	140社 (100%)

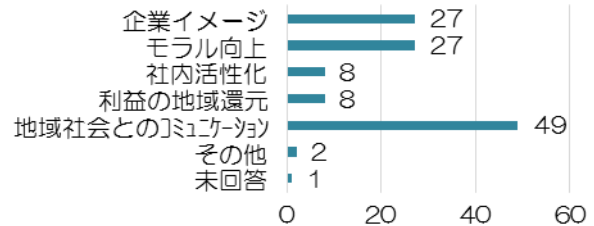
○従業員数

### 1 地域貢献に取り組んでいるか



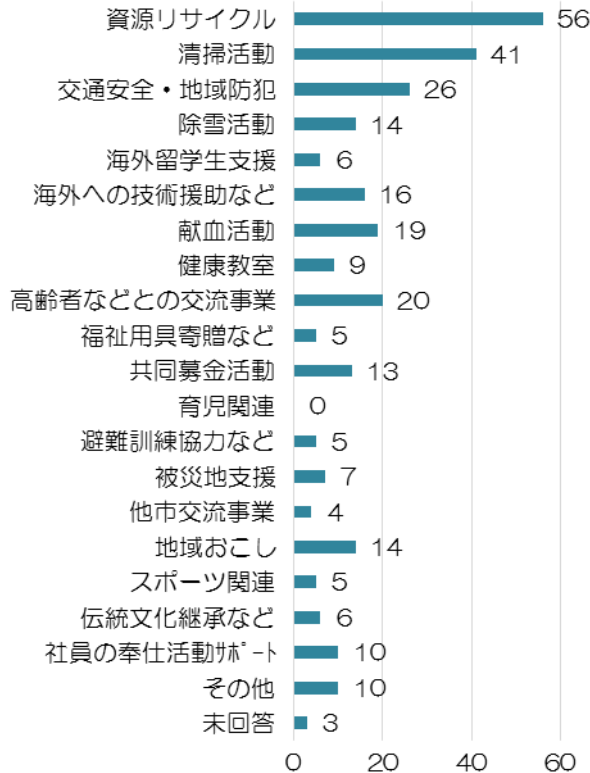
概ね半数の企業及び団体が地域貢献活動に取り組んでいる。また、「検討中」と回答した企業及び団体が10社ある。

### 2 地域貢献活動による効果について 複数回答 (問1で1 or 2と回答した78社)



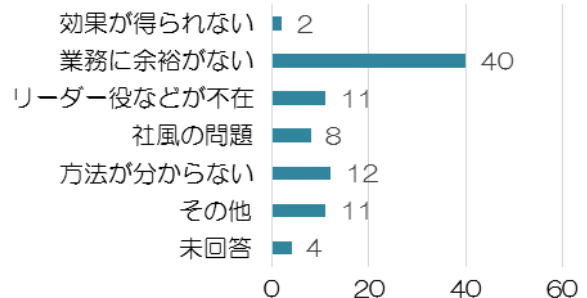
「地域社会とのコミュニケーション」と回答した企業及び団体が半数以上(63%)ある。また、「企業イメージの向上」、「モラル向上」などの回答も多くあがっており、地域貢献活動を行っている企業及び団体は地域社会との繋がりを意識している。

### 3 地域貢献活動の内容 複数回答 (問1で1 or 2と回答した78社)

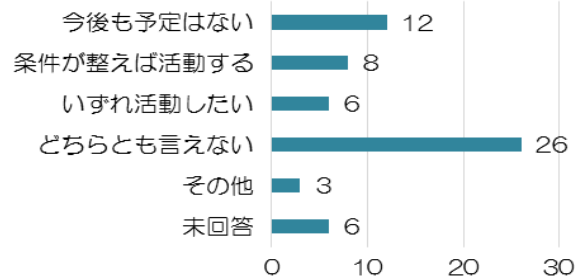


「資源リサイクル」、「清掃活動」、「交通安全・地域防犯」など日常生活に基づいた活動に回答が集中している。今後、他の分野の地域貢献活動についても情報提供する機会を持ちたい。

### 4 地域貢献活動に取り組んでいない理由 複数回答 (問1で3 or 4と回答した68社)



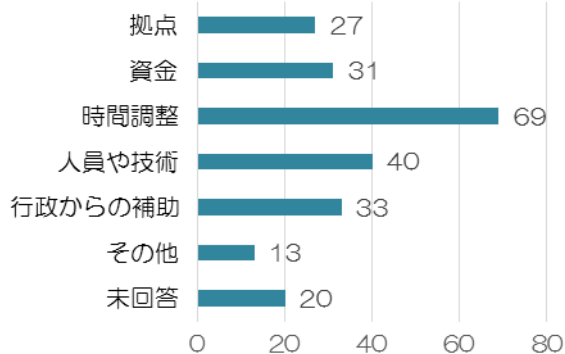
### 5 地域貢献活動に取り組む予定について 複数回答 (問1で3 or 4と回答した61社)



問4・5において、その他として、「経営自体が厳しい状況にあり余裕がない」と記載している企業が7社ある。回答より中小企業が置かれている環境を理解することができる。その一方で、「活動方法が分からない」、「いずれは活動したい」と回答した企業及び団体が複数あることから、地域貢献活動について前向きに検討する企業や団体が出てくることも予想される。

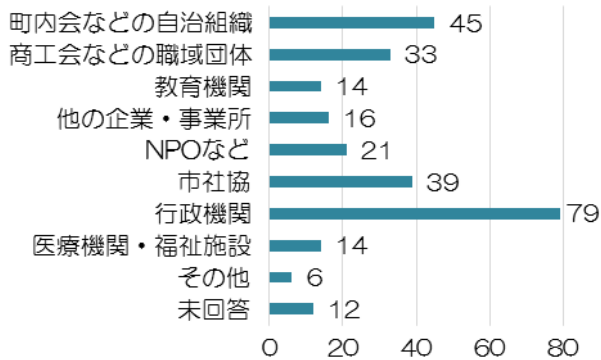


6 地域貢献活動に取り組みやすい条件について  
複数回答



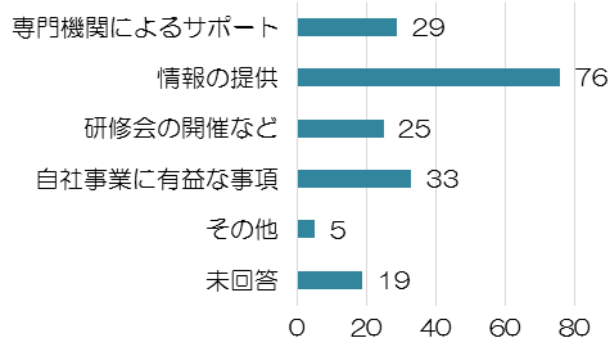
「時間の調整」と回答した企業及び団体が多い。実際に地域貢献活動を依頼する際には、活動しやすい曜日や時間を調整するなど相応の配慮が必要である。

7 地域貢献活動に取り組んでいくためのサポート機関  
複数回答



サポートしてほしい機関として「行政」を挙げた企業及び団体が半数以上（56%）あった。以下、「町内会」、「商工会」と続いている。企業が求めているサポートについて何らかの形でフィードバックしていけるよう新たなネットワークを構築する必要がある。

8 地域貢献活動を行う上で必要と思われるサポート  
複数回答

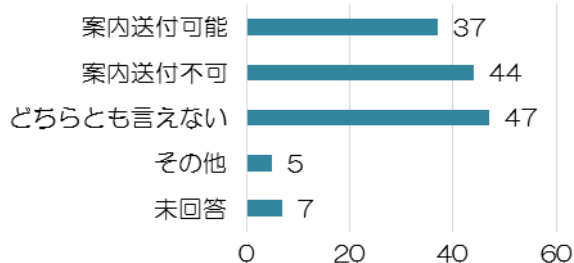


回答した企業の半数が「情報提供」を挙げている。企業及び団体による地域貢献活動を推進するために、情報提供の内容、方法などについて、意見交換の場を設けていく必要がある。

9 地域貢献活動に関する意見（自由記述）

- ・地域貢献に関する情報提供を求める意見  
地域貢献についてもっとPRを行う必要がある。方法や取り組み方について情報提供してほしい。
- ・地域貢献活動の在り方に関する意見  
専門性を活かせる取り組みがあれば協力できる。会社としてではなく地域人としてゴミ拾い等を行う。
- ・行政や市社協に対する意見  
コストが伴う活動は行政が先頭に立つべきである。有給が取りやすい環境を作ってもらいたい。企業の意向に沿ったボランティアを紹介してほしい。
- ・企業が置かれている現状に関する意見  
本業を優先することが地域の貢献に繋がる。収益を優先するため無償のボランティアは難しい。
- ・否定的な意見  
企業よりもリタイヤした団塊世代に依頼すべきでは。コストを掛けても見返りがないものに協力は困難。

10 除雪ボランティアの案内について



除雪ボランティアに関する意見

- ・どの程度の業務なのか分からないので判断できない。
- ・リスクがありボランティアの範囲を超えている。
- ・除雪ボランティアが必要な地域については、除雪だけ扱うのではなく日常的な支援を必要としているのではないか。
- ・市全体の問題として枠組みを決めていくべきである。
- ・本来の業務を優先すべきであるため、ボランティアができたとしてもかなり狭いエリアでの活動となる。
- ・会社周辺にある住宅の除雪活動を既に手伝っており、一杯一杯の状況である。これ以上は対応できない。

## (5) その他

### 第4次魚津市地域福祉活動計画策定作業委員会委員名簿

区 分		役 職 名	氏 名
1	学識経験者 (アドバイザー)	富山福祉短期大学准教授	◎ 宮 嶋 潔
2	アドバイザー	富山県社会福祉協議会地域福祉・ボランティア振興課主幹	水 井 勤
3	行 政	魚津市社会福祉課長代理	矢 野 道 宝
4		魚津市社会福祉課高齢福祉係長	戸 田 千 春
5		魚津市地域協働課長代理	高 田 弘 美
6		魚津市こども課子育て支援係長	石 浦 満理子
7	社会福祉法人	社会福祉法人海望福祉会あんの里デイサービス主任	小 林 一 行
8		社会福祉法人魚津保育会魚津第二保育園園長	神 田 好 美
9	NPO 法人・ ボランティア団体	特定非営利活動法人 わかくさ会施設長	黒 崎 直 美
10		魚津市観光ボランティアじゃんとこい会長	上 野 恭 子
11		パナソニック・タワー・ジャズ・セミコンダクター労組魚津支部	新 田 健太郎
12	当事者団体	手をつなぐ育成会長	常 楽 美恵子
13		魚津市立松倉保育園保護者会長	菅 野 真 子
14		魚津市精神障がい者地域家族会オアシス会長	青 山 正 二
15	地区社協	大 町地区社会福祉協議会代表	鹿 本 幸 男
16		村 木地区社会福祉協議会代表	柴 垣 尚 一
17		下中島地区社会福祉協議会代表	梅 原 正 信
18		上中島地区社会福祉協議会代表	水 口 毅
19		松 倉地区社会福祉協議会代表	道 音 唯 夫
20		上野方地区社会福祉協議会代表	尾 川 正 芳
21		本 江地区社会福祉協議会代表	○ 三 谷 敏 博
22		片 貝地区社会福祉協議会代表	森 山 行 光
23		加 積地区社会福祉協議会代表	澤 田 良 明
24		道 下地区社会福祉協議会代表	葉勢森 正 之
25		経 田地区社会福祉協議会代表	中 村 康 昭
26	西布施地区社会福祉協議会代表	大 森 美紀子	
事務局		市社会福祉協議会事務局長	内 海 三佐雄
		市社会福祉協議会地域福祉課長	関 口 恭 子
		市社会福祉協議会地域福祉推進係長	笠 木 圭 子
		市社会福祉協議会地域福祉推進係主事	小 澤 由紀子
		市社会福祉協議会地域福祉推進係主事	伊 藤 弘 子
		市社会福祉協議会地域福祉推進係主事	中 陳 嗣 久
		市社会福祉協議会居宅介護支援事業所	丸 田 智 恵
		市社会福祉協議会障害者生活支援センター	浦 本 容 子
		市社会福祉協議会児童センター	生 田 晴 実

◎委員長 ○副委員長



## 魚津市地域福祉活動計画策定作業委員会設置要綱

### (目的及び設置)

第1条 社会福祉法人魚津市社会福祉協議会(以下「市社協」という。)は、第4次魚津市地域福祉活動計画(以下「計画」という。)の策定に関し必要な事項を協議するため、第4次魚津市地域福祉活動計画策定作業委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

### (会務)

第2条 委員会の会務は、次のとおりとする。

- (1) 計画策定に必要な実態やニーズの把握、課題整理及び分析に関すること。
- (2) 計画策定に係る関係機関との連絡調整に関すること。
- (3) 計画骨子案・素案のまとめに関すること。
- (4) その他計画策定のために必要な事業に関すること。

### (構成)

第3条 委員会は、30名以内の委員を持って構成する。

2 委員は、地域福祉関係者、行政関係者、関係機関職員、市社協職員、NPO法人及び学識経験者の中から市社協会長が委嘱する。

### (任期)

第4条 委員の任期は、委員会の目的が達成されるまでとする。

2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (委員長及び副委員長)

第5条 この委員会に委員長及び副委員長各1名を置く。

2 委員長は、委員の互選による。

3 副委員長は、委員長が指名する。

4 委員長は、委員会を代表し会務を総括する。副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故あるときはその職務を代理する。

### (会議)

第6条 委員会は、必要に応じ委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員長は、必要があるときは、委員以外の者を会議に出席させることができる。

### (専門部会)

第7条 委員会に必要に応じて、専門部会を置くことができる。

2 専門部会は、委員会の委員及び関係者をもって構成する。

3 専門部会に部会長1名及び副部会長1名を置く。

4 部会長及び副部会長は、部会員の互選による。

### (庶務)

第8条 委員会の庶務は、市社協地域福祉課地域福祉推進係において処理する。

### (委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

### 附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

## 第4次魚津市地域福祉活動計画策定のスケジュール

期 日	委員会	事務局検討内容
5月30日		委員の依頼など
6月7日		第3次計画振り返り
6月13日		第4次計画の流れ
6月16日		委嘱状交付について
6月21日		年代別アンケートについて
6月24日		委員会開催について
6月28日	第1回策定作業委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の委嘱</li> <li>・年代別アンケート</li> </ul>
～7月末	年代別アンケート実施	年代別アンケート実施、集計、分析
7月4日		ヒアリング内容について
7月8日		年代別アンケート実施、集計、分析
7月13日		各部会のヒアリング主旨
7月14日	第2回策定作業委員会	部会別ヒアリング 内容検討
8月3日		ヒアリング内容検討
8月16日		ヒアリング進捗状況確認
～8月末	課題別ヒアリング実施	ヒアリング 実施、集計 分析
9月5日		座談会開催内容検討
9月8日	第3回策定作業委員会	年代別アンケート、ヒアリングの集計、中間報告
9月14日 ～10月20日	地域福祉座談会の開催	市内13地区で実施
9月14日～		座談会結果集計・分析
10月3日 ～10月20日	企業及び団体の地域貢献に関する意識調査	意識調査送付 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区福祉活動計画手順書、仕上がり案検討</li> </ul>
11月24日	第4回策定作業委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉座談会結果</li> <li>・課題整理</li> <li>・骨子案の検討</li> </ul>
	地区(小地域)福祉活動計画策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協による計画策定(手順書記入)</li> </ul>
平成29年1月19日	第5回策定作業委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画体系図・骨子案の競技</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区(小地域)福祉活動計画策定の協働</li> </ul>
平成29年3月10日	第6回策定作業委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画最終案について</li> </ul>